

平成27年度高知市地域アクションプランの削除・拡充項目について

高知市地域アクションプランの削除・拡充（予定項目）

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 17 地域の食材を活かした包あん食品の開発・製造・販売 (高知市) 【実施主体】(株) 高南食品	当該事業者が新たな事業を立ち上げたことに伴い、包あん食品の製造事業を県内の他事業者に引き継いだため、地域アクションプランから削除する。

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 8 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市) 【実施主体】JA 高知市、JA 高知市土佐山柚子生産組合	【拡充】従来のユズ搾汁事業に加え、残渣の活用にも取り組む。事業拡大に伴い、加工販売の役割を担う旭フレッシュ(株)を事業主体に加える。

削除項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 地域の食材を活かした包あん食品の開発・製造・販売	農産物を中心とする地域の食材を活用した包あん食品を開発し、製造・販売を進める。	(株)高南食品	<ul style="list-style-type: none"> ・包あん機等の機械設備を導入、OEMの大福を製造開始(H24) ・OEM大福の販促活動(H25～26) ・自社ブランドで文旦大福、生姜大福を商品化、販売開始(H25) ◆文旦や生姜の大福のほか、OEMでは地域特産の豆や茶を活用した大福を製造し、地域の特産品づくりにも寄与している。 	・新たな販路開拓と新商品の開発	◆農産物を中心とする地域の食材を活用した包あん食品の開発・製造・販売



削除

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
農産物を中心とする地域の食材を活用した包あん食品の開発・製造・販売					→	包あん食品の売上	9,000万円
設備の導入	包あん食品開発・製造・販売						



削除



修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 ユズを核とした中山間農業の活性化	中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大と高品質化を目指し農家経営の安定化を図る。また、食品産業との連携による6次産業の強化を目指す。	・JA高知市 ・JA高知市土佐山 ・柚子生産組合	・搾汁施設の整備(H21) ・県版HACCP取得(H23) ・優良複製母樹の確保と技術指導(H21~26) ・ユズ園の状況把握のためのユズ生産者台帳やユズマップの作製作業(H25~26) ◆ユズ搾汁施設の改修により加工体制が強化され、また、大口需要者との継続的な取引が実現し、販売も安定する等一定の成果が見られた。 また優良母樹の確保対策なども、ほぼ計画どおり進んだ。 ◆ユズについての広報誌が毎月発行され、基本的技術や玉出し出荷の有利性が理解されつつある。	・生産の安定、高品質化対策と核となる担い手の育成による生産基盤強化 ・食品産業等との連携強化と消費者ニーズに対応した商品開発	◆生産の安定と高品質化対策 ◆連携型6次産業化の拡大・強化 ◆未利用部位の活用と搾汁残渣対策 ◆産地計画の実践

修正前



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 ユズを核とした中山間農業の活性化	中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大と高品質化を目指し農家経営の安定化を図る。また、食品産業との連携による6次産業の強化を目指す。	・JA高知市 ・JA高知市土佐山 ・柚子生産組合 ・旭フレッシュ(株)	・搾汁施設の整備(H21) ・県版HACCP取得(H23) ・優良複製母樹の確保と技術指導(H21~26) ・ユズ園の状況把握のためのユズ生産者台帳やユズマップの作製作業(H25~26) ◆ユズ搾汁施設の改修により加工体制が強化され、また、大口需要者との継続的な取引が実現し、販売も安定する等一定の成果が見られた。 また優良母樹の確保対策なども、ほぼ計画どおり進んだ。 ◆ユズについての広報誌が毎月発行され、基本的技術や玉出し出荷の有利性が理解されつつある。	・生産の安定、高品質化対策と核となる担い手の育成による生産基盤強化 ・食品産業等との連携強化と消費者ニーズに対応した商品開発	◆生産の安定と高品質化対策 ◆連携型6次産業化の拡大・強化 ◆未利用部位の活用と搾汁残渣対策 ◆産地計画の実践

修正後

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
生産の安定と高品質化対策					販売額 (H19: 16,090万円) (H22: 19,226万円)	H26: 19,000万円
青果・貯蔵・加工用途果実の生産技術向上						
担い手の育成と生産基盤の強化						
連携型6次産業化の拡大・強化						
連携事業体との連携強化・拡大と商品アイテムの多様化						
未利用部位の活用と搾汁残渣対策						
未利用部位や新たな活用方法の研究						
残渣処理場の確保・コスト低減						
産地計画の実践						
実践						



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
生産の安定と高品質化対策					販売額 (H19: 16,090万円) (H22: 19,226万円)	H26: 19,000万円
青果・貯蔵・加工用途果実の生産技術向上						
担い手の育成と生産基盤の強化						
連携型6次産業化の拡大・強化						
連携事業体との連携強化・拡大と商品アイテムの多様化						
未利用部位の活用と搾汁残渣対策						
未利用部位や新たな活用方法の研究						
残渣処理場の確保・コスト低減						
産地計画の実践						
実践						

線表の延長

追加